

棚下水栓 …… KXS37GE-TD
(寒冷地用 … KXS37GE-TDC)

施工説明書

- 施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 各部の名称・寸法図

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。

一般用

シャワ受

ガイドパイプ

レバー

シャワヘッド (切替)

給水ホース (ベンリーフレキ)

シャワホース

ホース接続金具 (逆止付)

給湯ホース (ベンリーフレキ)

接続金具

止水栓

【吐水角度の調節】
シャワヘッドは三方向に収納できます。

30°

30°

水抜ジョイント

水抜操作ハンドル

凍結のおそれがある場合に水抜操作ハンドルをまわして水栓内部の水を抜きます。

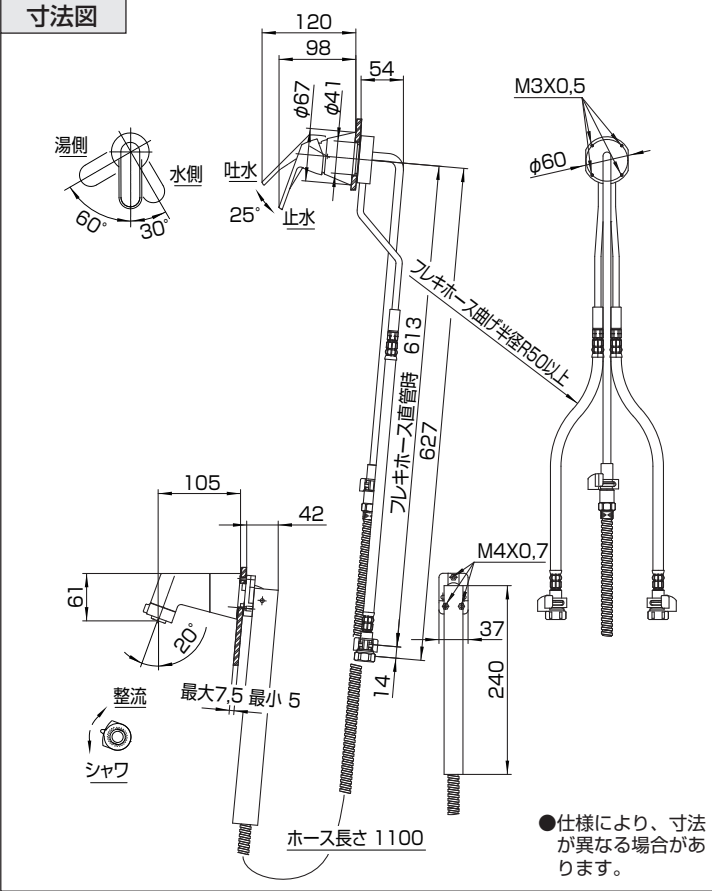
●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

寒冷地用

水抜ジョイント

水抜操作ハンドル

凍結のおそれがある場合に水抜操作ハンドルをまわして水栓内部の水を抜きます。



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

- 注意
- …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
 - …… 「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
 - …… 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
 - …… 「分解してはいけません!」
 - …… 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

注意

- 修理技術者以外の人、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 湯水を逆に配管しないでください。正常に作動しないため、やけどをする事があります。
- 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- (寒冷地用の場合)
凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- (寒冷地用の場合)
水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ストレーナの掃除をする際は、止水栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

●給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。

●給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●シャワを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。四季を通じて快適なシャワを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。

●本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側で上げていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

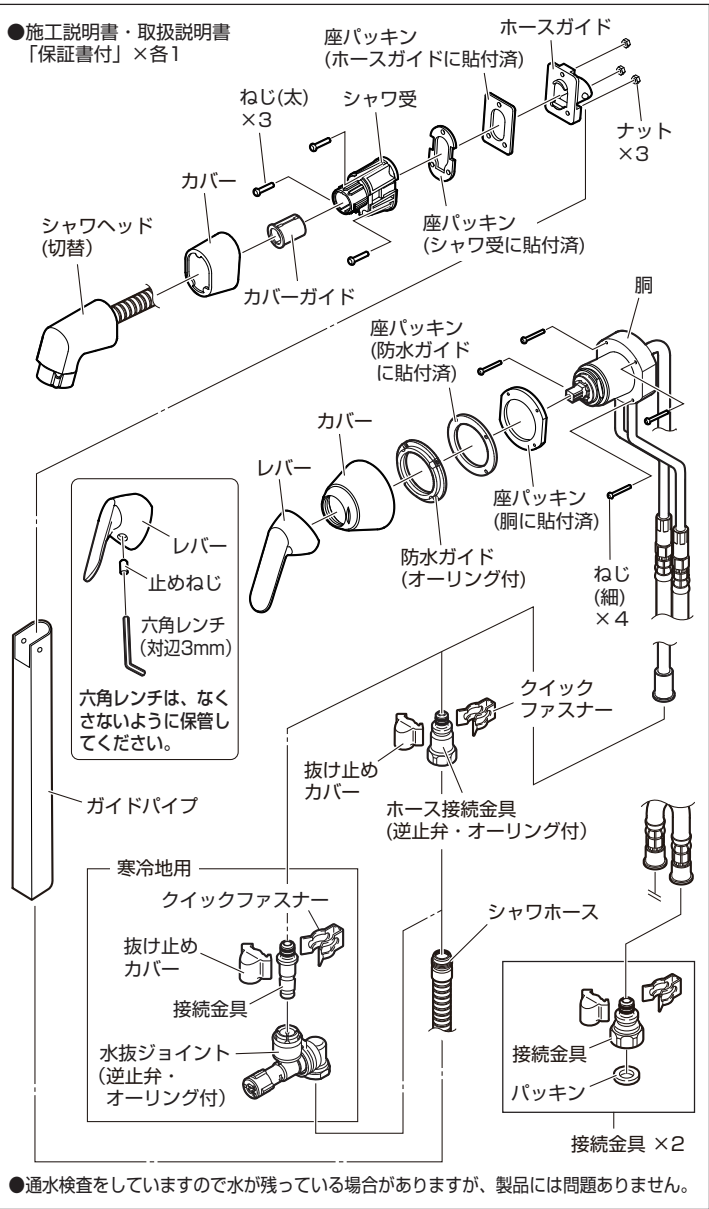
〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	用途	一般住宅用
--------	---------------	----	-------

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細



施工について 施工手順

主な工具類

レバーを取付ける時に必要な工具

六角レンチ (同梱品)

(対辺3mm)

スパン・モンキーレンチなど：接続金具のナットや袋ナットがまわせる工具。

使い古しのハブラシなど：取付穴周囲などの掃除ができるもの。

タオルなど：ケガ防止や水栓保護のために使用します。

止水栓がドライバー式の場合に必要な工具

マイナスドライバー

プラスドライバー：水栓を取付ける時に必要です。

手袋：ケガ防止のために着用してください。

そうきんなど：配管中の残り水を拭くのに使います。

1 配管内の掃除をします。

注意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、この場合には有償修理となります。

2 水栓を取付けます。

注意

取付時に、強い衝撃が加わるような工具（インパクトドライバーなど）の使用は避けてください。製品やカウンターの破損のおそれがあります。

(1) カウンター穴の寸法を確認し、胴をねじ（細）で固定してください。（4箇所）

18.7 18.7
φ35.4
φ42.8
18.7 18.7
45以上
座バックシン (胴に貼付済)
胴
カウンター
座バックシン (シャワ受に貼付済)
シャワ受
ねじ(細)×4
防水ガイド(オーリング付)

●胴に座バックシンが貼付されていることを確認してください。座バックシンが貼付されていないと、水漏れの原因になります。
●座バックシン裏面のはくり紙をはがし、胴をカウンターに押しつけて固定してください。

18
R9
30.6
φ5-3
10.1 10.1
16.1 20.9
37
44以上
座バックシン (ホースガイドに貼付済)
ホースガイド
座バックシン (シャワ受に貼付済)
シャワ受
ねじ(太)
ナット

●カウンターのねじ差込み穴と胴のねじ穴が合うように施工してください。穴がずれると、取付けできないおそれがあります。
●ねじ・ナットに緩みがないよう確実に締付けてください。ねじ・ナットが確実に締付けられていないと、シャワ受・ホースガイドが傾いたり、水漏れの原因になります。

(2) カウンター穴の寸法を確認し、シャワ受・ホースガイドをねじ（太）とナットで固定してください。（3箇所）

18
R9
30.6
φ5-3
10.1 10.1
16.1 20.9
37
44以上
座バックシン (ホースガイドに貼付済)
ホースガイド
座バックシン (シャワ受に貼付済)
シャワ受
ねじ(太)
ナット

●シャワ受・ホースガイドに座バックシンが貼付されていることを確認してください。座バックシンが貼付されていないと、水漏れの原因になります。
●座バックシン裏面のはくり紙をはがし、ホースガイドをカウンターに押しつけて固定してください。

※シャワ受には、はくり紙は付いていません。

18
R9
30.6
φ5-3
10.1 10.1
16.1 20.9
37
44以上
座バックシン (ホースガイドに貼付済)
ホースガイド
座バックシン (シャワ受に貼付済)
シャワ受
ねじ(太)
ナット

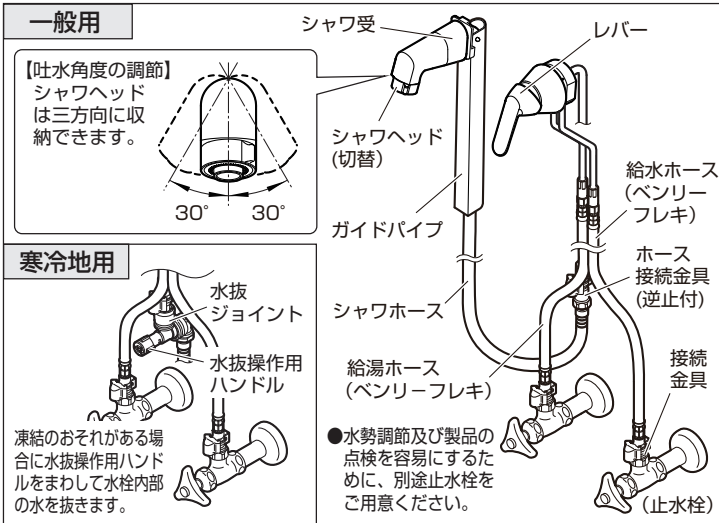
●カウンターのねじ差込み穴とシャワ受のねじ穴が合うように施工してください。穴がずれると、取付けできないおそれがあります。
●ねじ・ナットに緩みがないよう確実に締付けてください。ねじ・ナットが確実に締付けられていないと、シャワ受・ホースガイドが傾いたり、水漏れの原因になります。

取扱説明書

- ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称・寸法図

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明	
警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」	
注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」	
⚠ …… 「注意しなさい!」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）	
⊘ 「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）	⊘ 「分解してはいけません!」
✋ 「指示した場所に触れてはいけません!」	❗ 「指示通りしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

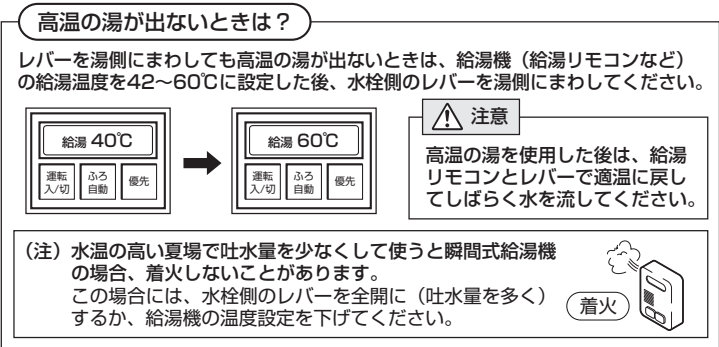
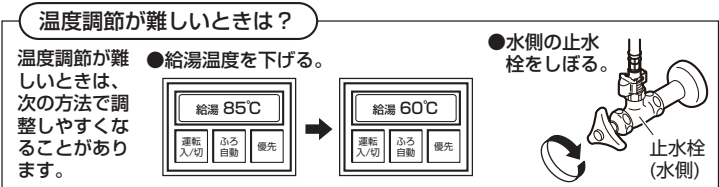
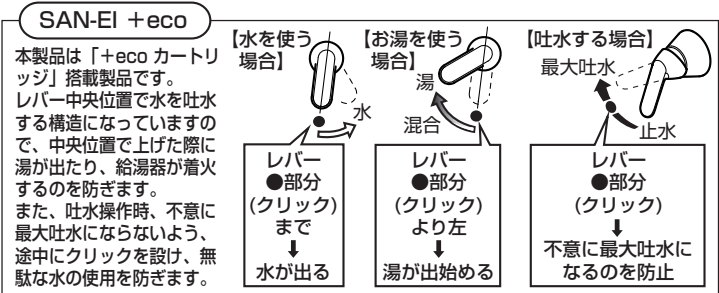
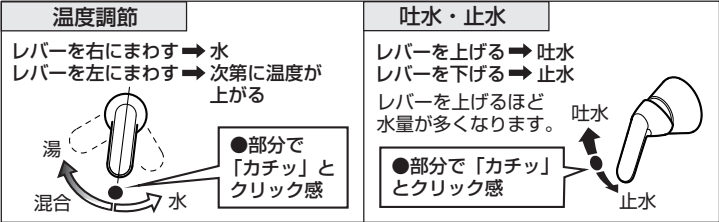
⚠警告
⊘ 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。 やけど・けがをするおそれがあります。

⚠注意
❗ 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。 しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
⊘ 製品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因になります。
⊘ 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。 器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
❗ ストレーナの掃除をする際は、止水栓を閉めてから行ってください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
❗ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。 凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠注意
❗ 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。 劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
❗ 長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。 水漏れなどの事故の原因になります。
⊘ 高温の湯をお使いのときは、シャワホースに直接肌を触れないでください。 シャワホースは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。
❗ (給湯器の設定温度について) 給湯温度は最高85℃まででお使いください。 85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。 なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
⊘ シャワには高温の湯（60℃以上）を通さないでください。 給湯温度が60℃以上の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調整してください。 シャワヘッドが破損し、やけどをするおそれがあります。 安全のため、適温でのご使用をおすすめします。
❗ レバーの温度位置を確かめて吐水してください。 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
❗ レバーは、ゆっくり動かしてください。 レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
❗ 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。 次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
❗ 高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。 次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
❗ 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。 やけどのおそれがあります。
⊘ 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。 水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⊘ (樹脂メッキ付部品の場合) 樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。 ●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。 【樹脂メッキ部品の例】 ・シャワヘッド ・ハンドル、レバー ・シャワ受 など
⊘ シャワ受先端やレバーに重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。 摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。
❗ シャワをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
⊘ シャワホースをねじったり、無理に曲げないでください。 シャワホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⊘ シャワホースやシャワ受に水をかけないでください。 水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⊘ シャワホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワヘッドやシャワホースをつけないでください。 汚水が器具に逆流したり、水がシャワホースを伝わって落ち、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⊘ シャワヘッドをシャワ受に収めた状態でシャワヘッドを回さないでください。 シャワヘッドが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
❗ (寒冷地用の場合) 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。 凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⊘ (寒冷地用の場合) 水抜きは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜き部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

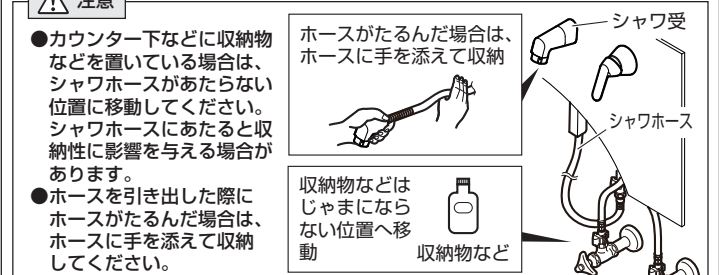
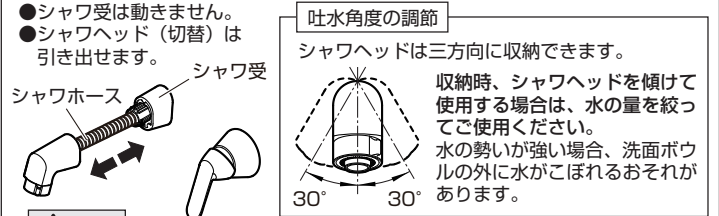
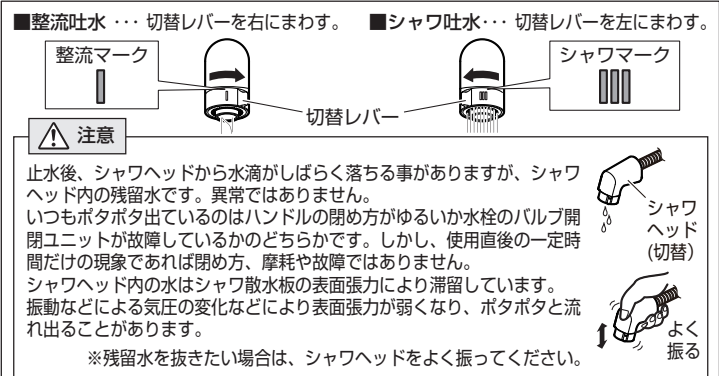
ご使用について 吐水・止水・温度調節

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。



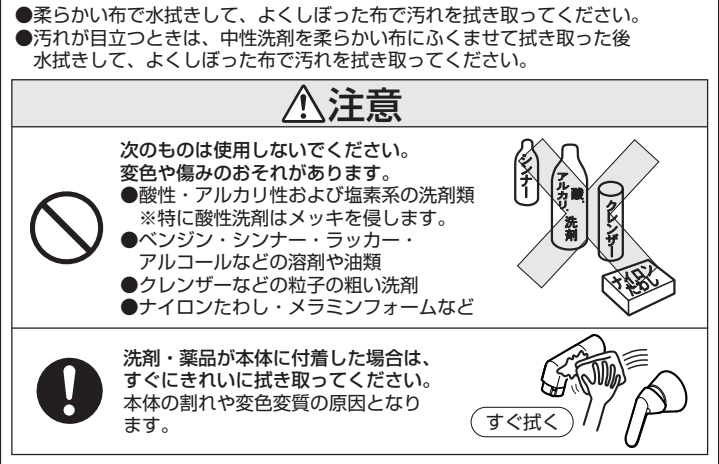
ご使用について シャワの使用方法

シャワヘッド（切替）で整流吐水・シャワ吐水に切替えができます。



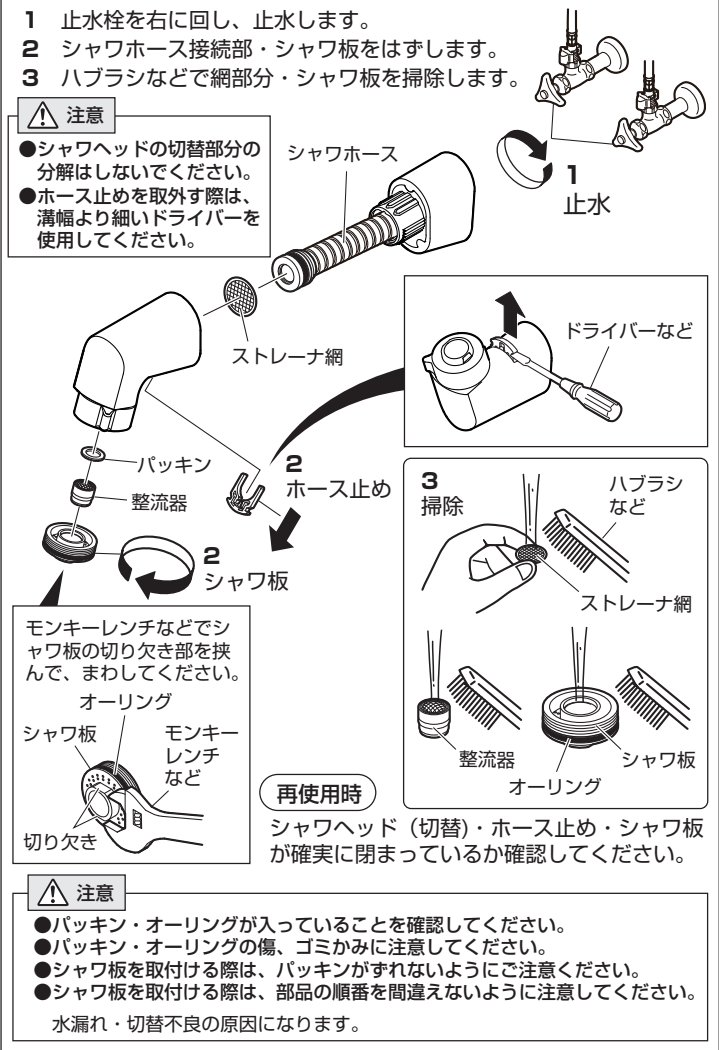
日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。



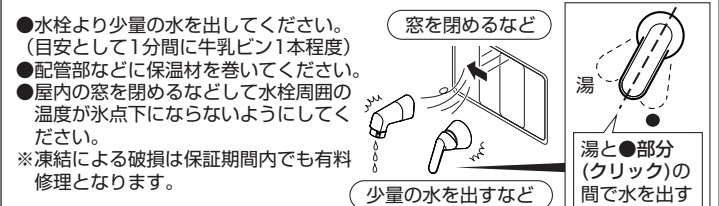
日頃のお手入れ ストレーナ・吐水口の掃除

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。（近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。）



凍結予防について 一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。



凍結予防について 寒冷地用の場合（水抜方法）

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜栓）とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

1 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。

2 レバーを上げ、右側いっぱいに回します。

3 シャワホースを引き出せる位置まで引き出します。

4 水抜操作ハンドルを Open 方向に奥まで回し、ホース内の水を抜きます。

5 シャワヘッド（切替）をよく振ってそのまま置きます。

6 レバーを上げたまま、左側いっぱいに回します。

シャワホース

3 シャワヘッド（切替）引き出す。

5 シャワヘッド（切替）よく振って水を抜く。

よく振る

4 水抜操作ハンドルを回す。

水抜穴

奥まで回す。

Open 方向

注意

●水抜部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。

●水が抜けない場合は、シャワヘッド（切替）を高い位置に持ち上げ、シャワホースをしっかり伸ばしてください。

再使用时

① シャワヘッド（切替）・シャワホースを元の位置に戻します。

② 水抜操作ハンドルを Close 方向に空回りするまで回します。

Close 方向

ハンドルが空回りするまで回す。

③ レバーを下げて配管の水抜栓を閉め、元栓を開けます。

④ レバーを上げて通水し、水抜穴・各接合部から水漏れがない事を確認してください。

2 レバー

6 レバー

定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワホースやその下が濡れていないか確認してください。

ぐらっ

確認

確認

確認

水漏れ

漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」を参照してください。

定期的な点検 レバーのガタツキ

レバーががたつく場合、止めねじがゆるんでいないか、下記の操作を行い確認してください。

止めねじを六角レンチで増し締めします。

レバー

止めねじ

六角レンチ（同梱品）（対辺3mm）

締付けトルクの目安 2N・m

六角レンチは、なくさないように保管してください。

以上の処置をされても不具合がなくなる場合は、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な部品交換 シャワホース・逆止弁の交換時期

シャワホースの交換時期の目安：5年

シャワホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

■ 寒冷地用の場合

シャワホースの交換

逆止弁の交換

※逆止弁が内蔵されている水抜ジョイントを交換ください。参照：施工説明書「本製品の構造」

水抜ジョイントの交換

※交換時期は、使用環境などにより異なります。

※シャワホース・逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。
高温しかない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
低温しかない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
	湯側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。
水はねが気になる		止水栓かレバーで水量を調節する。

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びレバー上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。レバー上部からの水漏れの場合は、シングルレバーカートリッジを交換してください。
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。シングルレバーカートリッジを交換してください。
シャワホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワホースを交換してください。

保証とアフターサービス

〔保証について〕

●この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。

お買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名が記入してあることを確認してください。

●保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。

保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。

●保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。

摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め（3～5年）の点検・交換をおすすめします。（交換時期は、使用環境などにより異なります。）

定期点検・部品交換

使用年数

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替えご検討

摩耗劣化部品の交換

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例：

シングルカートリッジ（バルブ開閉ユニット）・逆止弁（逆流防止弁）・シャワホース・シャワヘッド・レバー（ハンドル）・網（ストレーナ）・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。

部品の詳細については「本製品の構造」を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの）の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

●修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店（工事店）又は当社

●連絡していただきたい内容：■住所、氏名、電話番号

■品番、品名

■お買上げ（お取付け）年月日

■故障内容、異常の状況（水漏れ箇所の説明など）、部品交換の依頼

■訪問希望日

品番を確認するにはシャワ受右側下部に貼付のシールをご確認ください。

（例）

KXS37GE-TD

1234567890 G

品番

製造番号

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」＋「部品代」＋「出張料」で構成されています。

「技術料」

診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」

修理および部品交換に使用した部品代。（無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。）

「出張料」

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。

ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間（お買上げ日/お取付け日から）	
	本体	2年	
お買上げ日（お取付け日）	年 月 日		
お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話	（ ）	
販売店	店名	住所	
	工事店		
	電話	（ ）	

＜無料修理規定＞

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。

2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。

3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

(1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷

(2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷

(3) お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷

(4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合

(5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合

(6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷

(7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合

(8) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合

(9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合

(10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合

(11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合

(12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の製品の凍結による故障及び損傷

(13) 本書の提示がない場合

(14) 本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問合せください。

★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

SAN-EI

株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661

東京 ☎(03)3683-7496

フリーダイヤル ☎ 0120-06-9721

東京支店 …… ☎ (03)3683-7471

名古屋支店 …… ☎ (052)800-8688

大阪支店 …… ☎ (06)6972-6981

札幌営業所 …… ☎ (011)782-5353

盛岡営業所 …… ☎ (019)605-7301

仙台営業所 …… ☎ (022)258-6251

郡山営業所 …… ☎ (024)931-1377

新潟営業所 …… ☎ (025)281-1291

東京西営業所 …… ☎ (042)582-7141

さいたま営業所 …… ☎ (048)625-4741

横浜営業所 …… ☎ (045)929-0331

静岡営業所 …… ☎ (054)236-1115

金沢営業所 …… ☎ (076)268-7751

京都営業所 …… ☎ (075)605-5761

神戸営業所 …… ☎ (078)843-9231

広島営業所 …… ☎ (082)922-3631

松山営業所 …… ☎ (089)905-7866

福岡営業所 …… ☎ (092)674-1230

熊本営業所 …… ☎ (096)385-7161

沖縄営業所 …… ☎ (098)869-0890

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>